

教育研究業績書

2017年05月29日

所属：教育学科

資格：講師

氏名：宇野 里砂

研究分野	研究内容のキーワード
小児神経学、特別支援教育	特別支援教育、障害児医療、医療的ケア、運動発達遅滞、発達障害
学位	最終学歴
医学博士	大阪大学大学院 医学系研究科 神経生理学 博士課程卒業

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. Power Point・動画を活用した授業	2014年～現在	
2. Power Pointを活用した授業	2010年2011年	
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 大阪行岡医療大学（非常勤講師）	2017年09月～現在	理学療法学科「発達障害論」
2. 兵庫県立大学看護学部（非常勤講師）	2017年04月～現在	「学校保健」（オムニバス）
3. 平成27年度「兵庫県子育て支援員研修（放課後児童コース）専門研修」講師	2016年	「子どもの生活面における対応」
4. 平成28年度「兵庫県子育て支援員研修（地域保育コース）専門研修」講師	2016年	「心肺蘇生法」
5. 梅花女子大学（非常勤講師）	2015年04月～現在	「重複障害・LD等の心理・生理・病理」「知的障害の心理・生理・病理」（オムニバス）
6. 教員免許状更新講習「時代に向き合う教師力開発（主として幼小教員対象）」	2015年～現在	
7. 兵庫県放課後児童支援事業「放課後児童支援員認定資格研修」	2015年～現在	「子どもの生活面における対応」
8. 滋賀医療技術専門学校（非常勤講師）	2010年2011年	理学療法学科・作業療法学科「小児科学」
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 小児慢性特定疾病指定医（豊中市）	2015年	
2. 日本小児科医学会認定「子どもの心」相談医	2013年	
3. 産科医療補償制度診断医	2012年	
4. 障害者福祉法第15条第1項に規定する医師の指定	2010年	
5. 周産期・新生児医学会新生児蘇生法一次コース認定医	2009年	
6. 日本医師会認定産業医	2008年	
7. 大阪府医師会指定学校医	2008年	
8. 指定自立支援医療機関指定医	2008年	
9. 医師免許	1993年	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. ボイタ法Bコース修了	2016年	
2. PEARS Provider	2016年	
3. ボイタ法Aコース修了	2013年	
4. 第3回医師のための母乳育児支援セミナー修了	2007年	
5. ボトックス注100講習・実技セミナー修了	2007年	
6. ボイタ法医師講習会（診断編）修了	2007年	
7. ボイタ法医師講習会（治療編）修了	2006年	
8. ボバースコンセプト医師講習会修了	2005年	
4 その他		
1. 大阪府立茨木支援学校 医師講師	2016年04月～現在	
2. 吹田保健所非常勤医師	2014年04月～現在	
3. 豊中市立しいの実学園小児科非常勤医師	2014年04月～現在	
4. 豊中市保健所非常勤医師	2014年04月～現在	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 発達障害事典	共	2016年10月	丸善出版 日本LD学会編集	分担執筆「神経系機能の発達」「神経伝達物質」
2. 障害を持つ子どもたちのよりよい生活のために（改訂版）	共	2016年04月	大阪小児科医会	分担執筆
3. 障害児通所支援従事者ファーストステップ研修マニュアル作成および実施検証に関する研究：平成27年度総括・分担研究報告書：厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（身体・知的等障害分野））	共	2016年03月		
2 学位論文				
1. 幼若ラット大脳視覚野における垂直及び水平シナプス伝達に対する脳由来神経栄養因子の選択的作用 Selective Action of Brain-Derived Neurotrophic Factor on Vertical and Horizontal Synaptic Transmission in the Developing Visual Cortex of the Rat.	単	2000年03月	大阪大学医学雑誌 52(3/4): 111-118	
3 学術論文				
1. 成人期を迎える子どもをもつ保護者のてんかん診療についての認識	共	2016年06月	脳と発達, 48(4): 271-276	
2. 後天性脳損傷を認める学童の生活実態に関するアンケート調査（第1報）	共	2016年02月	日本小児科学会雑誌, 120(2): 230	
3. 病院における障がいをもつ子どものレスパイト入院についての検討	共	2014年01月	大阪小児科医会会報 168(2014):39-44	
4. 幼児期の発達障害児をもつ親のストレス評価	共	2012年	脳と発達 44(suppl): 357-357 (査読有)	
5. Survey of Japanese pediatricians on vaccination of children with neurological disorders.	共	2011年10月	Pediatr. Int. 53(5): 626-9 (査読有)	
6. 神経疾患をもつ児の保護者に対する予防接種アンケート	共	2007年	脳と発達 39(suppl): 5207-5207 (査読有)	
7. Quantal analysis suggests presynaptic involvement in expression of neocortical short- and long-term depression.	共	1997年07月	Neuroscience 79(2):317-21 (査読有)	
8. GH分泌不全を伴ったBartter症候群の1例	共	1995年	Pharma Medica 13(9): 227-227, 1995	
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 成人期を迎える子どもをもつ保護者のてんかん診療についての認識	共	2016年06月1日	第27回日本小児科医会総会フォーラム	
2. 後天性脳損傷を認める学童の生活実態に関するアンケート調査（第1報）	共	2016年02月	日本小児科学会雑誌, 120巻2号, 230, 2016	
3. 成人期を迎える子どもをもつ保護者のてんかん診療についての認識	共	2015年05月	第57回日本小児神経学会	
4. 病院における障がいをもつ子どものレスパイト入院についての検討	共	2013年11月	大阪府医師会医学会総会	
5. 病院における障がいをもつ子どものレスパイト入院についての検討	共	2013年04月	第116回日本小児科学会	
6. 幼児期の発達障害児をもつ親のストレス評価	共	2012年05月	第54回日本小児神経学会	
7. てんかんなどの神経疾患児の予防接種に関する現状・意識調査	共	2008年09月	第55回日本小児保健学会	
8. 神経疾患をもつ児の保護者に対する予防接種アンケート	共	2007年07月	第49回日本小児神経学会	
9. 重心児の療育の現状について	共	2006年03月	第39回日本小児神経科学会近畿地方会	
3. 総説				
1. 軽度知的障害の医学的定義と診断の状況と課題について	単	2016年02月	知的障害福祉研究「さぼーと」, 709: 11-13, 2016	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3. 総説				
2. 子どもの脳 視覚の発達 Child's brain. Development of visual sense.	共	1999年09月	Brain Med. 11(3): 233-239	
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. (講演)	単	2017年12月03日	第13期FBMインストラクター養成講座	
2. (講演)	単	2017年09月04日	大阪府立茨木支援学校 医療的ケア研修会	
3. (講演)	単	2017年09月	芦屋市幼稚園特別支援研究会	
4. (講演) 運動発達を軸にみる子どもの発達と生活	単	2017年05月25日	芦屋市幼稚園・特別支援研修会	
5. (講演) 重症児の学校生活での呼吸・食事・姿勢のポイント	単	2016年10月28日	西宮養護学校 医療的ケア研修会	
6. (講演) 運動発達の要一体幹の支持性一	単	2016年10月16日	第12期 FBMインストラクター養成講座	
7. (講演) 学校生活で気をつけるべき身体のこと	単	2016年07月22日	大阪府立茨木支援学校 医療的ケア研修会	
8. (講演) 障がい者の身体の理解と関わり方	単	2015年10月25日	第11期 FBMインストラクター養成講座	
9. (講演) 子どもたちへの関わりポイントー子どものライフステージにあわせて	単	2015年03月03日	豊中市立しいの実学園 職員研修	
10. (講演) 小児在宅医療児の医療ケアの実際	単	2015年02月26日	大阪府立吹田保健所 地域における小児在宅医療支援ネットワーク構築事業「小児在宅医療児と家族への支援に関する勉強会」	
11. (講演) ちょっと気になる子どもたちへの対処法ー幼保のちからー	単	2015年02月06日	平成26年度 池田市公立幼稚園振興協議会 研修会	
12. (講演) 障害のある子どもとともに学ぶ	単	2015年02月04日	平成26年度高大連携事業（高2生対象出張講義）	
13. (連載) 「りさ先生の小児科診察中」（月1回）	単	2011年12月～現在	どりむ社 プンブンどりむ プンブンPartner	
14. (講演) 豊中市の運動発達遅滞児のフォロー・連携について	単	2008年03月	豊中市医師会学術講演	
15. (講演) 豊中市の運動障害を持つ児について	単	2008年02月	乳幼児健診従事者研修会	
6. 研究費の取得状況				
1. 障害児通所支援従事者ファーストステップ研修マニュアル作成および実施検証に関する研究		2015年04月01日	厚生労働省科学研究費 障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（身体的知的等障害分野））（H27-身体・知的一般-004）	研究代表者

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年～現在	大阪小児科医会 理事
2. 2014年～2017年03月	日本特殊教育学会
3. 2014年～2017年03月	日本特別ニーズ教育学会
4. 2014年～	日本LD学会
5. 2007年～	日本小児科医会
6. 2007年～	日本脳性麻痺ボツリヌス療法研究会
7. 2007年～	日本ラクテーションコンサルタント協会
8. 2007年～	日本小児神経学会
9. 2006年～現在	大阪小児科医会 勤務医部会 障害児問題検討委員会
10. 2006年～	大阪小児科医会
11. 2006年～	Osaka Sleep Health Network
12. 2004年～	近畿てんかん研究会
13. 2004年～	日本医師会

学会及び社会における活動等

年月日	事項
14. 2004年～	小児神経科学会近畿地方会
15. 1996年～	日本神経科学会
16. 1994年～	大阪てんかん研究会
17. 1993年～	日本小児科学会
18. ～現在	豊中市医師会 小児科医会 理事